

## 住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	太平洋建業 株式会社	電話	011-584-3071
	住所	札幌市豊平区西岡4条14丁目2-13		

### 測定対象建物の概要

建物の名称	[REDACTED]様(1回目)			
所在地	札幌市白石区 [REDACTED]			
竣工年月日	2023/12/23			
構造及び工法	在来木造工法			
建物の規模	地階床面積	- m <sup>2</sup>		
	1階床面積	54.03 m <sup>2</sup>		
	2階床面積	47.41 m <sup>2</sup>		
	3階床面積	- m <sup>2</sup>		
	延べ床面積	101.44 m <sup>2</sup> (A)		
開口部の仕様	窓	3重窓(外開き)		
	玄関戸	引き戸		
主な部位の気密層の仕様	タイベック			
建物概要図	別紙添付図面の通り			
通気量を測定した位置	添付平面図に示す			

### 測定時の建物条件

No.	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	なし	
6	換気レジスター	シャッター閉または目張り	○	
7	台所レンジファン	シャッター閉または目張り	○	
8	換気扇・天井扇	シャッター閉または目張り	○	
9	FF式以外の煙突の穴	ダンパー閉または目張り	なし	
10	屋外に通じる排水管	封水または管口を目張り	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	テープ処理または目張り	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	なし	

測定対象外にした部分(空間)の名称	
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積	- m <sup>2</sup> (B)
吹抜け・床下・小屋裏などの測定対象の相当床面積	22.31 m <sup>2</sup> (C)
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)	S = 123.75 m <sup>2</sup> S = (A) - (B) + (C)
測定対象とした建物の外皮内容積	V <sub>t</sub> = 295 m <sup>3</sup> (漏気回数を求めるときに記入すること)

注) 確認欄には、各状態を確認後、○印を付けること

# 住宅の気密性能試験結果(2)

様(1回目)

## 測定者・測定方法・測定装置

事業所	株式会社青山ブリザーブ	事業所登録番号	1092	測定者	青山 達哉	登録番号	04229-20
所在地	札幌市清田区平岡3条3丁目1-5			電話番号	011-882-1722		
測定方法	JIS A 2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法)による (減圧法) 流量および圧力差の測定は、あらかじめ校正した測定装置を使用して行った						
測定装置	コーナー札幌株式会社 KNS-2500C型						

試験日時	2023年12月23日 10時40分						
測定時の環境	天候	晴れ		風速	0.1 m/s (参考)		
	室内温度	22.5 °C		風向	(参考)		
	外気温度	0.9 °C		風速測定位置	(参考)		
				気圧	hPa (参考)		

測定点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
圧力差: $\Delta P$ (Pa)	19.5	26.1	33.7	41.9	47.2					
通気量: $Q$ ( $m^3/h$ )	119	147	176	203	225					

隙間特性値: $n$ ( $1 \leq n \leq 2$ )	1.41	
通気率( $\Delta P=1Pa$ 時の通気量): $a$	14.4 $m^3/h \cdot Pa^{1/n}$	
$\Delta P=9.8Pa$ における通気量: $Q_{9.8}$	73.0 $m^3/h$	
係数: $b$	0.712	
総相当隙間面積: $\alpha A$ ( $cm^2$ )	52 $cm^2$	
相当隙間面積: $C$ ( $cm^3/m^3$ )	0.4 $cm^3/m^3$	
参考:50Pa時の漏気回数(ACH)	0.8 回/h ( $\Delta P=50Pa$ 時の通気量 233 $m^3/h$ )	

